

# ヘルプマーク・ヘルプカードの導入について

一般質問 坂井美穂

**町長** できるだけ早い時期に実施したい



坂井 美穂 議員

や配慮をお願いしやすくするカード。札幌市では本年10月から導入されることになっている。

支援を求める人と支援する人を結ぶヘルプマーク・ヘルプカードを当町においても導入できないか伺う。

## 町長

今月6日付けでヘルプマーク等の普及に関する取り組みについての案が、北海道保健福祉部長から通知。道民による障がいのある方等への合理的配慮が的確に行えるような環境整備を図るとしている。本町の取り組みとして、一つ目として、ヘルプマークを購入し、道が作成する配付ガイドラインに基づき、希望する町民に配付する。

二つ目として、ヘルプマーク等の普及啓発を行う。三つ目として、道が作成する標準様式を参照にヘルプカードを作成し、町ホームページの掲載や窓口で備え置くなどして、希望する町民に対して配付する。できるだけ早い時期に実施したい。

## 公民館のエレベーター設置について

### 坂井

現在、新庁舎建設の検討が進められているが、周囲の施設との一体的なバリアフリーの検討をしていくことも必要ではないか。

### 町長

現在、老朽化している施設の建て替えや計画が進行しており、町財政として厳しい状況にあり、現時点におけるエレベーターの設置は難しい。バリアフリー構想の策定について、現在、新しい倶知安町都市計画マスタープランを策定中。

### 坂井

厳しい財政状況は十分承知しているが、予算があるなしではなく、町民にとって必要かどうかの視点からの検討が必要なのではないか。

### 町長

高齢者がその施設に行けるような雰囲気づくりというのは非常に大事だということとは十分認識している。今後、バリアフリー化についてはより内部でも検討してまいりたい。

**坂井** ヘルプマークは、外見からわからない障がいや病気がある人、例えば義足や人工関節を使用している。内部障害や難病の方、また妊娠初期の方などが、バッグやリュックなどに取りつけ、配慮を必要としていることを周囲に知らせるマーク。



ヘルプマークとヘルプカード

今後の施設整備において、現在ある施設を最大限、有効活用していくような検討と、昨年制定された障害者差別解消法での社会的障壁の解消の視点から、公民館のエレベーター設置を含む、バリアフリー基本構想の策定に対しての考えを伺う。

